

新川崎・鹿島田駅周辺地区緑化推進重点地区 施策方針図



計画策定の経緯

計画の策定にあたりましては、市民等で構成する緑化推進重点地区計画策定検討委員会を設置し、平成25年11月から4回の検討委員会を開催して施策方針等の検討を行いました。また、計画素案は、平成26年3月3日から2週間、幸区役所等において縦覧しました。

- 第1回 緑資源の確認と課題抽出
- 第2回 現地視察と課題の再確認
- 第3回 基本理念とテーマの決定
- 第4回 計画のまとめ



新川崎・鹿島田駅周辺地区 緑化推進重点地区計画

発行：川崎市
編集：川崎市建設緑政局緑政部
みどりの協働推進課
平成26年3月発行

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
Tel: 044-200-2380 Fax: 044-200-3973
Email: 53mikyo@city.kawasaki.jp



新川崎・鹿島田駅周辺地区 緑化推進重点地区計画

みんなでつくろう！
歴史が薫る 人が集う 幸のまち さいわい



「緑化推進重点地区」とは、市域において重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区のことです。この地区内の緑化を効果的に推進するために、「川崎市緑の基本計画」に基づいて「緑化推進重点地区計画」を定めることとされています。

※都市計画法に定める地区とは異なります。



区の木「ハナミズキ」

1 地区の概況

JR新川崎・鹿島田駅周辺地区は、多摩川と鶴見川にはさまれた平坦な地形となっており、地区の中心部であるJR新川崎駅・鹿島田駅周辺には、企業のオフィスビルや高層マンションが立地するなど、新しいまちなみが形成されています。また、現在、鹿島田駅西部地区において、市街地再開発事業が進められています。

JR鶴見操作場跡地内にある産学公民の連携による「新川崎・創造のもり」には、新川崎K2タウンキャンパスやKBIC（かわさき新産業創造センター）等の施設が整備され、技術の高度化や新産業の創出などの研究開発が行われています。

地区の西部に位置する加瀬山（標高約35m）では、古代の住居跡や古墳群等が発掘され、東部の平坦地には、南関東最古の農業用水である二ヶ領用水が流れるなど、歴史的な資産が残されています。地区の面積は約366haです。

3 テーマ

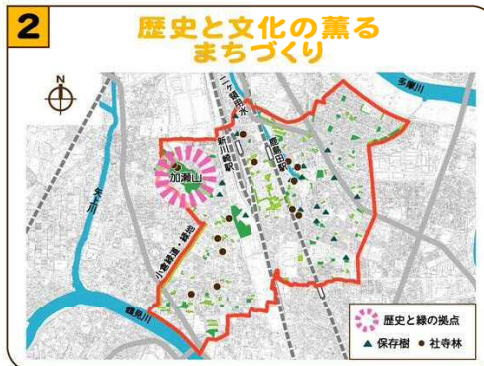
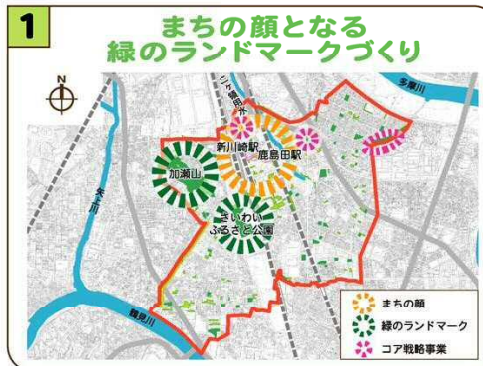
みんなでつろう！

歴史が薫る 人が集う 幸のまち さいわい

4 基本理念

★ 歴史と緑の加瀬山と公園・緑地・水路などをつなぎ、人と地域の力を活かして、緑あふれる幸のまちをつくります。

5 基本方針



2 緑の現況

緑の拠点・加瀬山にある「夢見ヶ崎公園」には、市内で唯一の動物園があり、また、市民健康の森や桜の名所として多くの市民に親しまれています。

「新川崎・創造のもり」の一角にある「さいわいふさと公園」では、地域の熱心な活動によって、花壇づくりや雑木林づくりなどが行われ、多くの生き物が生息する癒しの空間になっています。

JR新川崎・鹿島田駅周辺では、開発事業等による緑地の整備や街路樹が植栽されるなど、新たな緑が創出されています。また、地区全体では、親水遊歩道となっている二ヶ領用水・大師堀や用水路跡地に整備された小倉緑道など、歴史的な資産等による身近な水辺や緑が残され、社寺林や保存樹林等も多く点在するなど、新しい緑と歴史的な緑地資源が共存しています。

6 基本目標・主な取組

基本方針	基本目標	主な取組	事業推進 ※1 手法 協働取組 ※2
1 まちの顔となる緑のランドマークづくり	① 再開発による新たな緑・花づくり 市街地再開発事業等によって新たな緑を創出するとともに、まちの顔となる駅前周辺等での花と緑による空間づくりを進めます。	公園緑地等の整備 公園施設の更新と緑化の推進 再開発事業等による新たな緑の創出 駅前周辺等での協働による緑化の推進 商店街のにぎわいを彩る花づくり 生物多様性に配慮した公園づくり 四季を感じる華やかな公園づくり	推 推 推 協 協 協 協
	② さいわいふさと公園等での協働による公園づくり 花壇づくりや雑木林づくりなど多様な活動により、生物多様性にも配慮した新しい公園づくりを進めます。また、魅力ある公園づくりに向けて、緑化整備を行います。		
2 歴史と文化の薫るまちづくり	① 歴史と緑の拠点「加瀬山（夢見ヶ崎公園）」の保全と活用 市内唯一の動物園や加瀬山古墳群などの史跡があり、桜の名所である加瀬山（夢見ヶ崎公園）を、歴史・文化・緑の拠点として、市民との協働による保全と活用を図ります。	加瀬山の歴史と緑を活かした公園づくり 加瀬山の桜の保全と活用 加瀬山の緑の保全活動による生物多様性への貢献	推 協 協
	② 緑の財産の再発見と活用 社寺林や保存樹林・保存樹木等を緑の拠点として位置づけ、地域との連携による保全と活用を図ります。	学校等との協働や連携による花壇づくり 身近な緑や水辺の再発掘と活用促進	協 協
	③ 史跡の再認識と活用 小倉用水路跡に整備された小倉緑道や二ヶ領用水の大師堀・町田堀などの史跡を再確認し、緑地資源の活用を図ります。	保存樹木・樹林等の指定 公共花壇花植事業の推進	推 協
3 多摩川・鶴見川からの風の道づくり	① 水・緑・花による風の道づくり ヒートアイランド現象の緩和に向けて、多摩川や鶴見川からの冷涼な風を市街地に呼び込むため、市民との協働による緑道や街路などの緑化を進めます。	緑道・緑地等の地域との協働による適正な管理 区の木・区の花の普及促進	協 推
	② 花と緑による散歩道づくり 加瀬山（夢見ヶ崎公園）や街区公園などの緑の拠点とJR新川崎・鹿島田駅を街路樹などの身近な緑で結び、区の花や区の木などによる緑あふれる散歩道づくりを進めます。	公共用地等の空地を活用した花づくり 散策路の情報発信と利活用 街路樹診断等による安全対策の推進	協 推 推
	③ 公園緑地等の活用と防災力の向上 震災等の災害発生時には、火災の延焼防止や一時避難場所となることから、公園緑地等の緑化を進めます。また、地域との連携により街路樹等の適正な管理を行います。	生垣助成等の活用による防災力の強化 公園緑地等の緑化による防災力の強化	協 推
4 緑をつなぐ人づくり	① 地域の歴史と緑を継承する人づくり 地域の歴史と緑を未来へつなぐため、緑化活動を実践している団体等への支援や講習会の開催、緑化功労者の表彰など、緑の活動を支える人づくりを目指します。	地域緑化推進地区の認定・活用 緑化活動団体支援事業の推進 市民100万本植樹運動の推進	協 協 協
	② 多様な主体との協働による緑化活動の推進 町内会・自治会や市民活動団体、事業所、公共公益施設など、多様な主体との協働や連携による緑化活動を推進します。	公園を活用した地域づくり 緑化に関する技術的な支援 町内会・事業所等との連携強化	協 推 協
	③ 緑化意識の向上と情報発信 イベント開催や緑化に関する情報発信を行い、緑化意識の向上を図ることにより、みどりの活動への参加者の増員を目指します。	宅地内での花と緑による空間づくり 地域との連携による美化活動の推進 緑化に関するイベント情報等の発信	協 協 推

※1 事業推進：主に行政が主体となって取り組む事業

※2 協働取組：市民・事業者・行政との連携によって取り組む事業

7 取組状況の公表

市のホームページ等において、主な取組状況等について公表をしていきます。